

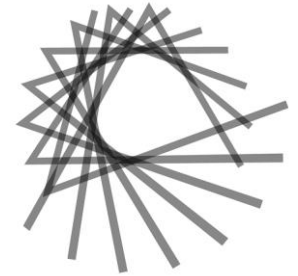
サイエンスアゴラ2023出展企画 募集要項

10/26_(木) ~ 28_(土)

オンライン開催

セッション最大30 企画
オンライン開催のため特定会場への搬入なし11/18_(土) ~ 19_(日)

実地開催 10時~17時

ブース80・ワークショップ20企画
搬入11/17[金]午後、搬出11/19[日]17時
会場:テレコムセンタービル他(お台場 青海地区)

SCIENCE AGORA

応募締切 6/30_[金] 正午(日本時間) 採択通知は8月上旬を予定

昨年の来場者アンケート結果をふまえ、オンラインも実地開催も、これまでと同様に「対話」を重視した企画を募集します。特に実地開催では、未来の科学技術を身近に感じられるような、サイエンスアゴラでの独自の体験ができる企画提案をお待ちしています。さらに、その体験をもとに、来場者が今後どのように未来共創に関わっていけるか、といった次のアクションが意識されているとより好ましいです。また、サイエンスアゴラは若い世代からの出展も歓迎します。

オンラインも実地開催も、来場者が自分の興味に沿って企画を選べるよう、5つのトピックを用意しました。応募にあたっては、ご自身の企画に集まる人々を想定し、その人達が関心を持ちそうなトピックを選んでください(今年は出展のテーマを設けていません)。

サイエンスアゴラ2023主催:科学技術振興機構(JST)
担当部署:社会技術研究開発センター(RISTEX)

募集要項 目次

サイエンスアゴラとは	3	実地開催: オープンスペース基本仕様	22
これまでの活動	4	実地開催: ブース基本仕様	23
参加者の特性など	5	実地開催: 3~5階基本レイアウト	24
昨年からの継続・改善点	6	実地開催: 11/18~19タイムテーブル	25
出展の形式	7	意見募集ボード(オピニオンボード)	26
応募の条件	8	意見募集ボード(レポートボード)	27
応募から採択までの流れ	9	レポート提出(セッション、ブース共通)	28
推進委員会による審査とキュレーション	10	採択企画を基に次世代企画を実施	29
人が集まる企画作りと情報発信	11	前夜祭	30
応募時に選ぶ5つのトピック	13	今後のスケジュール	31
サイエンスアゴラ2023の企画数(予定)	17	サイエンスアゴラ2023推進委員会	32
オンライン開催のタイムテーブル(予定)	18	応募の手順	33
オンライン企画実施後の対話の時間	19	応募申請書への記入	34
企画実施の際に意識したいこと	20	誘致企画	40
実地開催: 全体像	21		

不明な点はJSTサイエンスアゴラ事務局(agora@jst.go.jp)までお問い合わせください。後日、SNSや公式ウェブサイトにも主な質問と回答をまとめて掲載します。また、6月7日(水)16時~オンラインで募集説明会を開催します(事前申し込み不要)。URLはサイエンスアゴラ公式サイトでご確認ください。

サイエンスアゴラとは

※アゴラ(agora)は古代ギリシャ語で「広場」の意味

サイエンスアゴラは、「科学」と「社会」の関係をより深める目的で、様々な立場の人たち(小中高生も含む市民、科学者・専門家、メディア、産業界、政策決定者など)が情報共有・対話を行うオープンフォーラムです。

10月にオンライン開催、11月に実地開催し、比較的専門的なことが議論されるセッションから、対話型の展示やワークショップなど、多様な企画が集まります。

科学技術の楽しさを伝えて興味関心を喚起することに加え、科学技術をめぐる様々な課題や今後の社会の未来像についても考えられる、多様な人々が集う場を目指しています。



これまでの活動

2006年から開催しているサイエンスアゴラは、様々な関係者の試行錯誤によって発展してきました。発足当初は科学コミュニケーションの理念を社会に認知してもらうための活動が主でしたが、時代と共にコンセプトが変わり、2022年からは「共創」や「総合知」により未来を考える場と位置づけています。

サイエンスアゴラは
これからも
進化し続けます

草創期 (2006年～2009年)

- サイエンスが社会と交流し対話する広場
- サイエンスを担う多様な人々への対話を促す広場
- 日本中のサイエンスコミュニケーター達が集い議論する広場

第一次変革期 (2010年～2013年)

- 各地のサイエンスコミュニケーション活動の環をつなぐ場となり、多様なセクターが自律的に活動するネットワークへと発展
- 「伝える」とともに「つくる」へ広げる
- 多様な科学コミュニケーション活動の「見本市」として全国各地域の科学コミュニケーションを活性化

第二次変革期 (2014年～)

- 日本最大級の科学イベント
- あらゆる人に開かれた科学と社会をつなぐ広場
- 科学とともにある社会をつくろうと「行動している人」が集まり、お互いの活動に関心を持ち、仲間を募り、それぞれの活動を発展させていく場
- 社会とともにある科学、科学とともにある社会

サイエンスアゴラの活動要件

- ✓ 社会とともにあること、社会のためにあること
- ✓ 科学技術に関すること
- ✓ 自発的であること
- ✓ 多様な人とのつながりと対話を大切にすること
- ✓ 公開の場で対話できること

「総合知」とは → <https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/index.html>

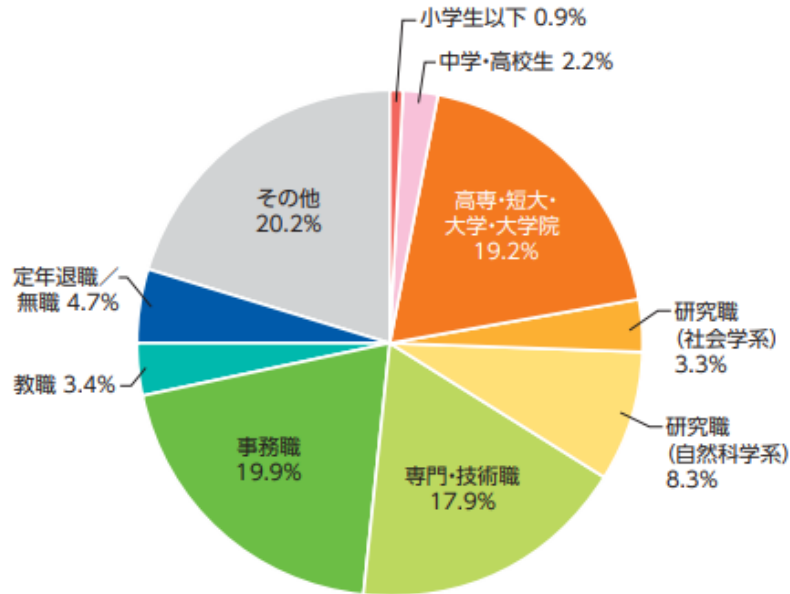
来場者の特性など

オンライン開催と実地開催で来場者の特性は異なります。どのような交流や体験が提供できるかをふまえて出展をご検討ください。

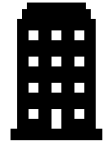
オンライン開催(2022年)



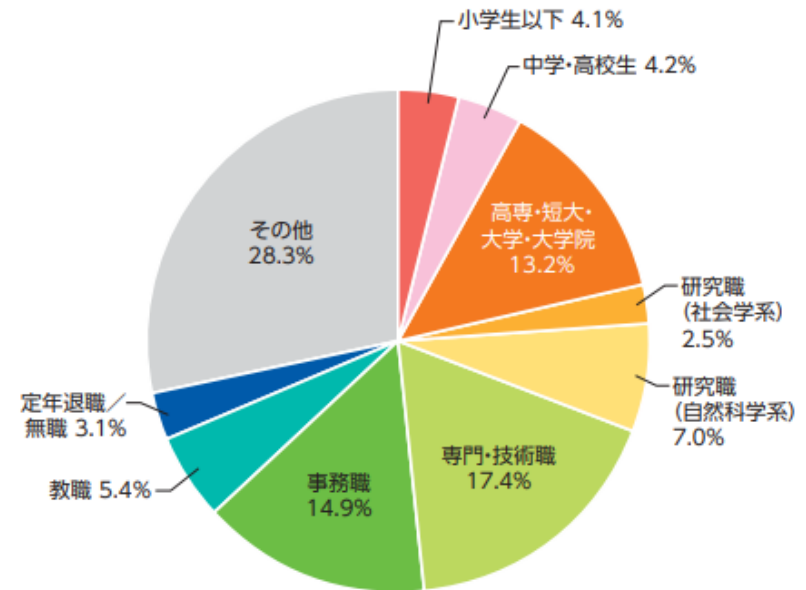
- 研究者・企業の参加が順調
- 子供向け企画は減少
(子供が長時間飽きずに見られる企画づくりが難)
- 次世代登壇の企画は好評
(全体的に平易な言葉で説明する姿勢がある)



実地開催(2022年)



- 視覚的にインパクトのあるブースは印象に残りやすい
(奇抜さ重視ではなく、学術的な裏付けが前提)
- 親子連れで楽しめる企画は好評
(大人にも学びがあるよう工夫されている)



昨年からの継続・改善点

- 参加者の声
- 上京が難しいので、オンライン開催の期間は今後も設けてほしい
 - 対話の時間には懐疑的だったが、様々な意見を知り、考えを深められた
 - オンラインの成果をブースで展示し、セッションの延長のような直接対話ができる
 - 実地開催の平日の集客に苦労した／実地開催の場合、ハイブリッドにすると「オンラインで見ればいい」と考え、来場に至らないのではないか
 - Peatixで有償の広告を使うと集客にかなり効くので検討してほしい
 - それぞれの企画はよいが、イベント全体でのまとまりが感じられない

オンライン実施枠を継続	>>>	オンラインで完結する企画は10月に実施(オンライン開催、実地開催の両方に出展申請ができます)
対話の時間(非公開)も継続	>>>	30分の対話の時間(アーカイブ非公開)で参加者がより発言しやすい環境を作れます ※質疑応答は本編の60分での実施を想定しています
実地開催は2日間、体験を軸とし配信は無し	>>>	平日希望の方はオンラインをご検討ください。ここでできない体験を歓迎。ブース出展は1日の出展も可に
Peatixでの参加申込は継続	>>>	オンラインは事前申込が必要(セッション開始から60分後まで受付)、実地開催も一部企画で申込を実施
ストーリー性のある企画配置を強化	>>>	新たな視点を生む企画配置などを、推進委員会が担当します

出展の形式

詳細は次ページ以降で確認できます。セッションのタイムスケジュール、ブースの配置は事務局が決定するため、場所や時間を選ぶことはできません(ご要望は承ります)。ただし、**応募数が多かった場合などは、出展形式の変更をお願いすることがあります。**

オンラインでの出展(10月)

60分の本編+30分の対話の時間を推奨(合計90分)
登壇者も来場者もオンライン参加。シンポジウム形式でもワークショップ型でもOK

実地開催での出展(11月)

ブース 終日各種展示ができるスペースでの企画実施を想定(無人ブースは認められません)。1小間につき、幅3m×奥行き3m×高さ2mで設営	2日間の連続出展	1小間の出展は無料、2小間目以降は1小間あたり2万円(税込)。最大3小間まで申込可能ですが、審査の結果、希望小間数が確保できないこともあります
	1日のみの出展	1小間のみの出展(終日利用前提、複数小間設定はありません。実施日の早朝搬入・17時搬出が可能な企画限定です)
オープンスペース 90分以内のワークショップやトークショーなどの企画実施を想定。幅10m×奥行き4m×高さ2mで設営	90分の枠内で出展	終日利用は不可。1枠の出展は無料、2枠目は2万円(税込)。3枠以上の設定はありません

応募の条件

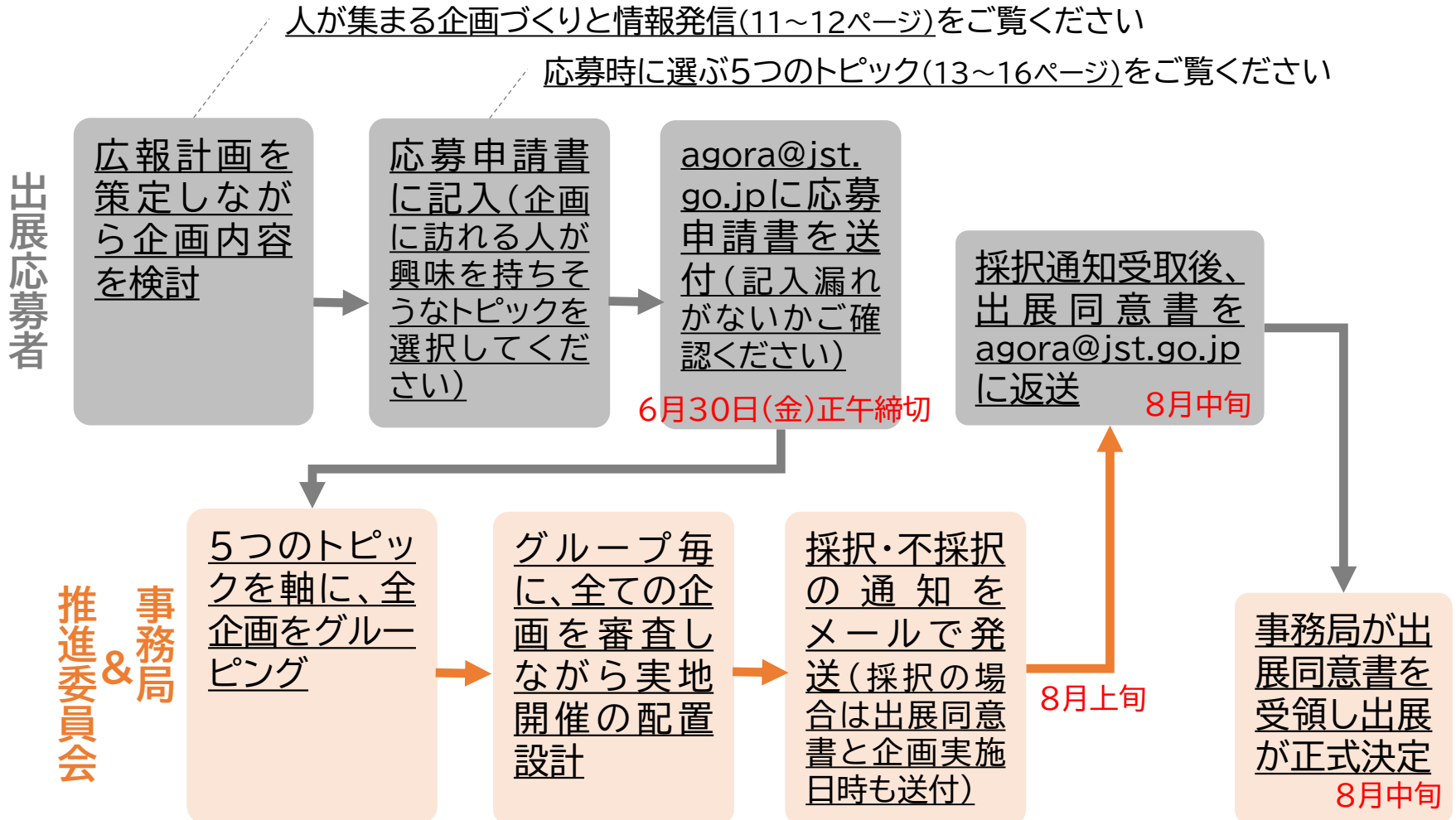
1. サイエンスアゴラの活動要件(4ページに記載)に賛同いただける方
2. 複数人で「対話」が前提の企画を実施できる方(オンライン・実地開催ともに)
3. 企画実施後、会場やウェブサイト等で公開するためのレポートを90分以内に運営事務局に提出できる方(レポートの内容は28ページをご覧ください)
4. 採択後の6回以上のSNS告知を含め、企画の開催告知や集客ができる方(採択後の6回以上のSNS告知については11~12ページをご覧ください)
5. オンライン企画は、運営事務局が指定する時間に主催者貸与のZoomアカウントで実施し、記録動画公開(YouTube)に同意いただける方(公開期間は原則として1年としますが、公開期間は相談可です)

出展料金は無料ですが、以下の場合には有料となります。

- セッション・ワークショップで90分を超えて企画を実施する場合→2万円(税込)
- 実地開催で複数小間出展する場合→2小間目から1小間につき2万円(税込)

なお、企画実施に必要な交通費や事務費用などの諸費用は出展者負担です。

応募から採択までの流れ



推進委員会による審査とキュレーション

応募企画は、応募情報をもとに、下記の観点に基づき、サイエンスアゴラ2023推進委員会が審査します。採択通知はメールで行い、委員会からのコメントがある場合は併せてお知らせします。

- ① 出展者が来場者に提供できるもの、来場者との対話から出展者が得たいものが考えられているか
- ② 時間配分や配付資料等が適切か(関心度が異なる人への配慮も考えられているか)。ブースの場合は来場者へ視覚的に訴える工夫があるか
- ③ 対話を促し、気づきを集めるための工夫があるか
- ④ 参加見込みのターゲット層への広報計画が妥当か

今年は、推進委員会によるキュレーションを強化し、オンラインではタイムテーブルの作成を、実地開催では会場レイアウトとワークショップのタイムテーブル作成を、推進委員会が行います。

上記の審査の観点が充実している企画には注目企画としての実施をお願いする場合があります。注目企画に選ばれると、公式ウェブサイト等で優先的な紹介が行われます。

人が集まる企画づくりと情報発信

参加者で賑わう企画を作るには、内容を固める際に、広報面も意識するのが有効です。まずは告知文を作成し、次に、その内容に興味を持ってくれる人は誰かを考えます。何度も見直すことで、興味を持ってくれる人達に情報が届きやすくなります。

- ① まずは「企画に参加・体験し、情報を知るとどんなメリットがあるか」を明確にします。出展者が持っている情報・技術は、世の中にどのように役立つか、どのような課題を解決する可能性があるか、を必ず盛り込み、**100文字程度**にまとめます。
- ② 次に、告知文の内容に興味を持ってくれるのは誰か？を想像し、企画の主な対象を明確にし、**対象者**(小さな子供の場合はその保護者)が**どんなことに関心がありそうか**をイメージして、その人が目をとめそうな言葉を使った**ターゲットコピー**を考えます。ターゲットコピーは**30文字程度**で。前半にターゲットを入れると効果的です。

提供できる情報と想定来場者に無理が生じていないか、出展する仲間と複数回チェックします。文章作成にはChatGPTの活用が便利ですが、実施可能な企画と乖離しないようご注意ください。**ターゲットコピーと紹介文は公式サイトに転載される場合があります。**

実施企画についてのSNSでの情報発信の例

小中学生注目！水素ロケットで次世代エネルギーの秘密を探ろう！

二酸化炭素を排出しない水素エネルギーは注目度上昇中！ロケットの仕組みがわかれば、エネルギー不足の解決策が見えてくるかも？興味のある人はロケットを飛ばしに来てね！

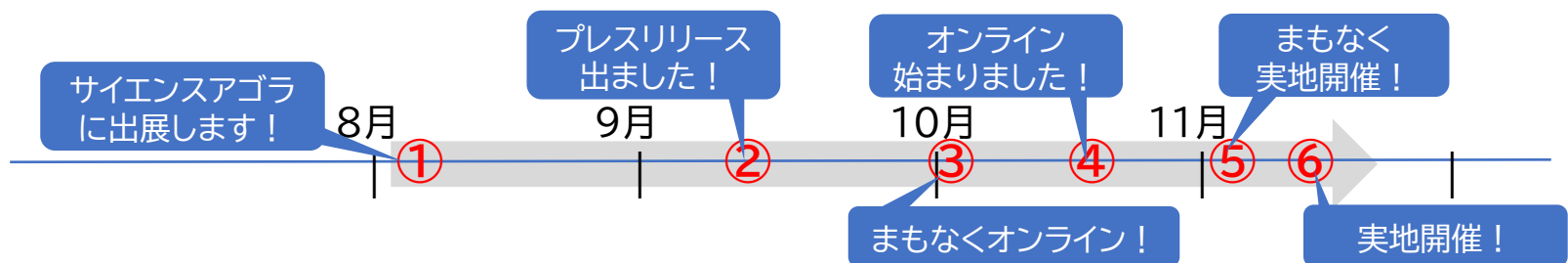
#サイエンスアゴラ #サイエンスアゴラ2023

ハッシュタグで
サイエンスアゴラ
をアピール

情報発信の際にはインターネットを有効活用してください。情報の拡散にはSNSが効果的です。ウェブサイトとのSNSを組み合わせた情報発信もご検討ください。

Twitter	Instagram	Facebook	ウェブサイト
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若い世代も使う ✓ リアルタイムの情報発信がメイン(情報が消えやすい) ✓ 短期的な情報で、読み物ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若い世代も使う ✓ 過去の情報にアクセスしやすい ✓ 画像重視で、読みやすい読み物・コンテンツとして楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若年層に弱くビジネス系に偏る ✓ 過去の情報にアクセスしやすい ✓ 読み物・コンテンツとして楽しめる ✓ 個人アカウントはよいが、ビジネスアカウントは反応が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 存在を知るファンのみが見る ✓ 過去の情報にアクセスしやすい ✓ SNSのような拡散力はない ✓ 新規のユーザーを獲得するのは困難

皆さんが同じ時期にSNSの投稿し、盛り上がりを作ることで、サイエンスアゴラに興味を持ってもらえそうな人へ情報が届きやすくなります。①出展決定時、②プレスリリース時、③オンライン1週間前、④オンライン開催時、⑤実地開催1週間前、⑥実地開催日、の合計6回以上の告知をお願いします。※オンラインの方もレポートが実地開催会場で紹介されるので告知にご協力ください。SNSアカウントをお持ちでない方は、作成をご検討ください。



応募時に選ぶ5つのトピック

サイエンスアゴラ2023は、キービジュアルに、『世界が広がる学問図鑑「気になる」は君の個性だ！』のイラストを起用します。応募の際に選ぶ5つのトピックは、この学問図鑑の内容を参考にしています。

私たちの世界は、たくさんの要素が相互に関係して作られています。知識は、1つの分野にのみ活かされるものではありません。課題を解決するためには、多くの知恵や視点が必要です。新たな未来を考える際には、枠に囚われず、違った立場の人も招き入れるようになってきました。サイエンスアゴラには様々な人が集まります。出展する皆さんの企画にも、来場される方々から、新たな視点やアイデアがもたらされるはずです。

来場される方々が、純粋な興味をたどった先で出会う、新たな発見につながるような企画を設計してください。選んだトピックに基づいて企画配置します。トピックは第2候補まで選べます。5つのトピックと、それに関わる学問領域については次ページからの表をご覧ください。

※学問図鑑の監修は、2018年から2021年までサイエンスアゴラ推進委員を務めた宮野公樹さんです。学問図鑑は、Gakkenの編集者が、サイエンスアゴラで親交を深めた宮野さんと一緒に制作したものです。

宮野公樹『世界が広がる学問図鑑「気になる」は君の個性だ！』(2023.2,Gakken)



この表は『世界が広がる学問図鑑「気になる」は君の個性だ！』をもとに、サイエンスアゴラ事務局が作成しました。

	気になること	具体的に気になることは？(一例です)
1	自然 が気になる	<p>生き物が気になる…例) 絶滅した生き物はどんな生活をしていたの？/生き物も人間と同じように心があるの？/生命って何？/微生物はどのように生きているの？</p> <p>人の心や体が気になる…例) 体の中はどうなっているの？「脳」のはたらきって？/どうして病気になるの？/人はどのように成長するの？/「心」ってどこにあるの？</p> <p>宇宙が気になる…例) 宇宙にはどのくらいの数の天体があるの？/宇宙でのルールって誰が決めているの？/宇宙人はいるの？/ロケットはどうやって宇宙空間で飛んでいるの？</p> <p>身近な自然が気になる…例) 地震はどうして起きるの？/自然災害を防ぐことはできないの？/世の中にはおもしろい植物がいっぱい!/いろいろな形や色の石があるのはどうして？</p> <p>自然の仕組みが気になる…例) 上に投げたボールが落ちてくるのはなぜ？/時間の長さはどこでも同じなの？/ものはどんな物質でできているの？/エネルギーってどうやって生まれるの？</p>
2	社会 が気になる	<p>社会の仕組みが気になる…例) 法律って何であるの？ /どうしたら犯罪をなくせるの？/地域によって気候や地形はどう違う？/国の政治って何をしているの？</p> <p>お金が気になる…例) ネットでものを買ったときはどうやって支払われているの？/お金ってなんでできてるんだろう？/これから先も、お金ってあるのかな？</p> <p>ものづくりが気になる…例) 製品ができあがるまでの流れが知りたい！/ゲームソフトはどうやってできるの？/機械はどうやって動くの？/AIってどんなことができるの？/スマホの画面に触れたら反応するのってどんなしくみ？</p> <p>インターネット・情報が気になる…例) SNSでの嫌がらせはどうしておきるの？/情報が多すぎてどれが本当なのかわからない！</p> <p>暮らしが気になる…例) 快適な家ってどんな家？/家事をスムーズにこなすにはどうしたらいいかな？/食事が体に与える影響は？/過去の災害から生まれた防災の対策ってあるの？/幸せになるにはどうしたらいい？</p>

この表は『世界が広がる学問図鑑「気になる」は君の個性だ！』をもとに、サイエンスアゴラ事務局が作成しました。

	気になること	具体的に気になることは？(一例です)
3	スポーツや芸術が気になる	<p>スポーツが気になる…例) スポーツがうまい人は、どんな動きをしているの？/ウェアによってスポーツの成績は変わるの？/筋肉が付きやすい食事ってどんなもの？</p> <p>音楽が気になる…例) どうやって音楽を作るの？/上手に演奏するにはどうすればいいの？/ノリノリの音楽を聴くと元気になるのはなぜ？/どんなホールだと素敵に聞こえる？</p> <p>ことば・文章が気になる…例) ことばはどうやって発音する？/プログラミング言語って何？/ロボットと人がわかり合うのは難しい？</p> <p>絵・デザインが気になる…例) デザインってなに？/そもそも色って何？/人間にとって使いやすいデザインとは？/美術品をどうやって保存する？/美しいってどういうこと？</p> <p>ファッション・美容が気になる…例) 着心地のよい衣服ってどんなもの？/化粧品は何でできているの？/流行はどうやって始まるの？</p>
4	レジャー・エンタメが気になる	<p>旅が気になる…例) 世界一周って、どのくらい時間がかかる？/農村も観光地になるの？/おもてなしの心ってすごい！/国や地域によって習慣が違うのはなぜ？</p> <p>乗り物が気になる…例) 環境に優しい乗り物って？/交通渋滞を減らすには、どうしたらいい？/事故に遭ってもけがを防げる？/未来の乗り物ってどうなってる？</p> <p>食べ物・料理が気になる…例) 調理のしかたで栄養素って変わっちゃうの？/漁業と森林は関係があるって、本当？/最新の農業ってどうなっているの？</p> <p>テレビ・メディアが気になる…例) テレビってなんで映るの？/テレビや映画の画像を勝手に使っちゃダメなのはなぜ？/音や映像によって心地よく感じたり、感動したりするのはなぜ？</p> <p>PC・ゲームが気になる…例) ゲームを作る人になりたい！/PCのキーボードが世界共通なのはどうして？/そこにはないはずのものが立体的に見える仕組みは？</p> <p>身の回りの人が気になる…例) 「家族」って何？/看護師、介護士の仕事って？/学校の先生になりたい！子供の意見を取り入れてほしい！</p>

この表は『世界が広がる学問図鑑「気になる」は君の個性だ！』をもとに、サイエンスアゴラ事務局が作成しました。

	気になること	具体的に気になることは？(一例です)
5	社会課題が気になる	<p>貧困・格差が気になる…例) 「平等」ってどういうこと？/日本の国会議員はどうして男性のほ うが多いの？/全ての人が安心して健康に暮らせる社会がいい！</p> <p>偏見が気になる…例) 「男らしさ」「女らしさ」って何？/考え方の違いからも争いは起こるの？/ いろんな宗教があっていいんだよね？/人間が差別してしまうのはなぜ？</p> <p>健康が気になる…例) 体の中をどうやって調べる？/人の体ってまだまだ不思議がいっぱい！/ 体が不自由な人を助けるロボットがあるの？/今よりもっと効く薬がどんどん出てくれば いいのに！</p> <p>環境が気になる…例) クリーンエネルギーって何？/自然とともに生きるってどういうこと？/ 環境を守るためにはお金はいくら使ってもいい？/環境の変化をどうやって捉える？</p> <p>争い・戦争が気になる…例) ネット上にも戦争ってあるの？/周りの国と良い関係を築くには どうしたらいいの？ /いつか世界中の人が1つのことばで話せる日はくるかな？/正義って 何？</p>

- ✓ 「社会が気になる」は社会の仕組みに関すること、「社会課題が気になる」は社会生活を送るうえで解決した方がよいと思われることを指します。
- ✓ 上記の「具体的に気になること」はあくまでも一例です。人によって気になることは異なり、上記以外の問いが生まれてくることもあるでしょう。ご自身の企画は、どのような問いに答えられるのかを、応募申請書に盛り込んでみてください。
- ✓ 来場者が気になるであろうことを選ぶ際には、「気になること」ではなく「**具体的に気になることは？**」に含まれる内容から判断してください。

サイエンスアゴラ2023の企画数(予定)

オンライン開催(10月)と実地開催(11月)の、合計5日間+前夜祭を予定しています(10月は応募状況により延長等の可能性あり)。10月は全企画をYouTubeで配信、11月はオンライン配信なしの実地開催のみ。企画数は目安です。

10月 オンライン開催			11月 前夜祭・実地開催(東京・お台場 青海地区)			
オンライン			オンライン	テレコムセンタービル		
10/26[木] 午後を想定	10/27[金] 午後を想定	10/28[土] 午前・午後	11/17[金] 夜間に実施	11/17[金]	11/18[土] 10時~17時	11/19[日] 10時~17時
セッション (60分以内+ 対話30分) 5 企画×2 チャンネル ※応募状況に より変動あり	セッション (60分以内+ 対話30分) 5 企画×2 チャンネル ※応募状況に より変動あり	セッション (60分以内+ 対話30分) 5 企画×2 チャンネル ※応募状況に より変動あり	セッション (前夜祭) 1 企画 出展者のオン ライン登壇を 想定(希望者)	設営(午前) 必要に応じ オープンス ペース現場 あわせ(午 後)	ワークショップ等 セッション系企画 (90分以内)が実施 できるオープ ンスペース ※3~5箇所 10 企画	ワークショップ等 セッション系企画 (90分以内)が実施 できるオープ ンスペース ※3~5箇所 10 企画
ブースなし	ブースなし	ブースなし	ブースなし	ブース搬入 (14時~18 時)	2日間ブース 70 企画	
					1日ブース 5 企画 搬出17時~	1日ブース 5 企画 搬出17時~

オンライン開催のタイムテーブル(予定)

こんな企画に向いています

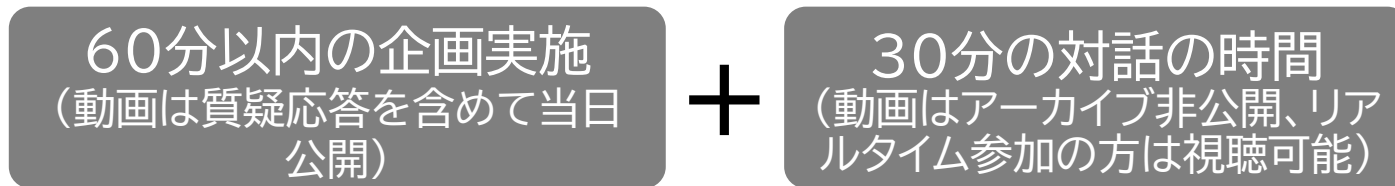
- 来場者も巻き込んで活発な意見交換を行いたい(ライブ投票、Q&A機能が使用可能)
- 海外在住や多忙な登壇者も含め、多くの関係者を集めたい
- 地方の学生や研究者が交流・参加できる場にしたい
- 開始時間を選びたい(右の開始時間は基本形です。時差を考慮し、遅い時間に実施することもできます。時間延長の場合はご相談ください)
- 部分的に非公開のほうがいい議論を含む(例:闘病中の当事者などが対象で、ある程度閉じた空間のほうが話しやすいパートがある場合)

2つのチャンネルで同時に企画を実施予定、下記は1チャンネルのみを表示しています

	10/26[木]	10/27[金]	10/28[土]
10時			
11時			企画実施 60分以内 交流30分
12時			
13時	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分
14時			
15時	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分
16時	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分
17時			
18時	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分
19時	企画実施 60分以内 交流30分	企画実施 60分以内 交流30分	
20時			

オンライン企画実施後の対話の時間

- 各企画の実施(60分以内)後に、30分の対話の時間(参加者間の対話・ネットワーキング)時間を設定(企画実施の延長時間ではないことに注意)します
- 対話の時間は「ここだけ」の時間。アーカイブは非公開のため、自由な発言を引き出せます。なお、通常の質疑応答は公開対象ですのでご注意ください



企画実施と対話の時間はセットで考えてください

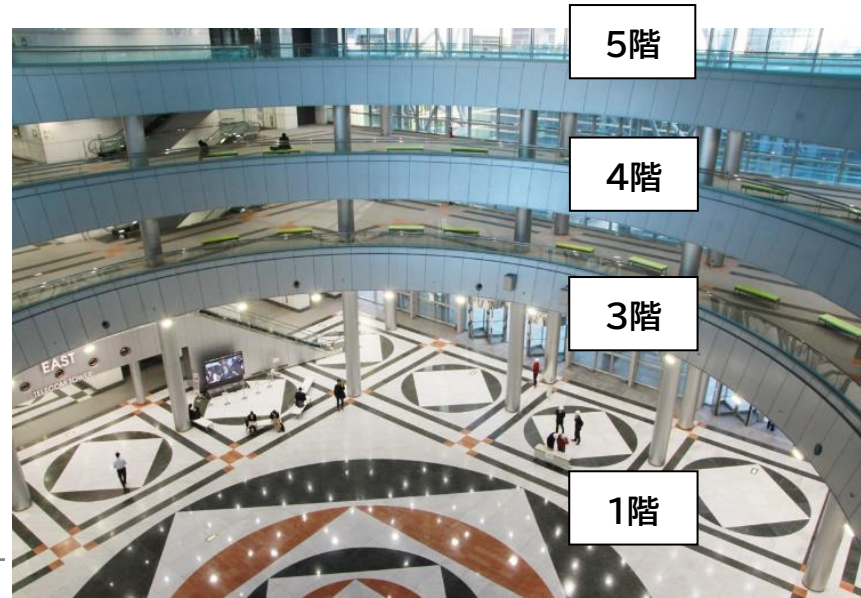
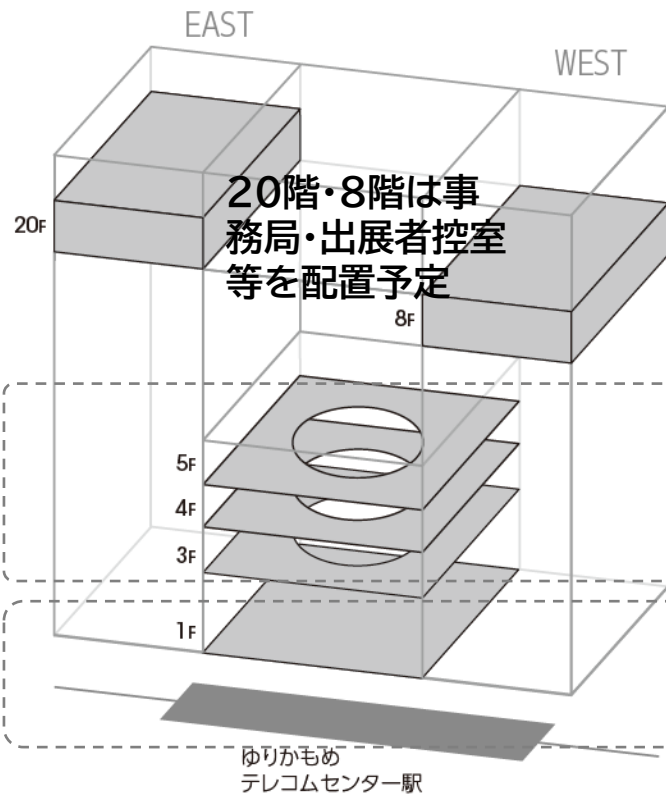
- 企画実施時間は、視聴者の参加のしやすさを考慮して60分になっており、質疑応答も60分のあいだに行う想定です。企画全体に対話が含まれる構成の場合は、非公開部分を設けず90分で実施をしても構いません
- 対話の時間を含めた企画内容が審査対象です。対話のない企画はサイエンスアゴラに出展できません。
- 対話の時間のファシリテーターは各企画主催者が務めてください。裏話の紹介や、以下のような呼びかけを行うと話しやすい雰囲気をつくれます
 - 本編の質疑応答で質問しにくかったことがあればぜひ聞かせてください
 - この部分はアーカイブ非公開なので安心してお話してください

企画実施の際に意識したいこと

サイエンスアゴラ2021(オンライン開催)募集要項【特別付録】に記載の内容をまとめなおしました

<p>出展の目的 普段の活動を軸に、サイエンスアゴラの活動要件に合った企画が実施できるか考えましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 普段の活動の目的達成のために、どんな行動や対話が必要か ✓ この企画で、目的達成に必要な部分のどこを達成できるか ✓ 来場・視聴者と共に考えたいこと、持ち帰ってほしいことは何か
<p>登場人物 来場者(視聴者)と語り合いたいテーマに沿った人選ができていますか? 様々な気づきを述べやすい場作りができていますか確認しましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 考えたい・やりたいことに対し、適切な人選か(専門のバランス) ✓ ジェンダーバランス、年代を意識しているか ✓ ファシリテーターは単独か、登壇者と兼任で良いか ✓ 資料は来場・視聴者に分かりやすいか(登壇者へも専門外の人が参加していることを伝え用語の解説などを依頼してください)
<p>ストーリー 視聴者・来場者を置いていかないために、どのように話を進めますか。起承転結が作れているかをチェックしてみましょう</p>	<p>起:冒頭でインパクトを与えられる?どんな問いや未来像を提示する? 承:話題提供をいれる? すぐにワークなどを促す? 転:参加者との自由な対話により、予期せぬ発見を促せそうか? 結:得られた成果をどうまとめる?来場者に何をもち帰ってもらう?</p>
<p>進行デザイン セッションで参加の実感が得られるか、ブースではコンパクトに情報を伝えられるか、来場者の負担が少ない時間配分を考えましょう</p>	<p>登壇者の発表時間が10分以下だと参加者が内容を理解しにくく、20分を超えると飽きられる場合があります</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 来場者が飽きずに、かつ内容についていける時間配分か ✓ 自然に対話や意見交換ができる工夫があるか
<p>企画の告知 出展者が独自に行う広報計画も審査対象です。事前の告知・広報なくしては、自分の企画に多くの来場者が訪れることはありません。ターゲットごとに、どのような告知・広報を実施すれば効果的かを考えてください</p>	
<p>リハーサル 出展者自身がイベントの進行に慣れていても、登壇者や協力者が慣れているとは限りません。また、来場者目線でのわかりやすさが確保できているかもぜひチェックしてください。必要なポジションに担当者を割り振ってあるかはもちろん、企画実施後に提出するレポートを誰が作成するかも確認してください</p>	
<p>企画の実施～振り返り 当日は異なる意見の人も含めて対話ができる工夫をしてください 実施後は、アンケートや当日の様子から、何が達成できて何が足りなかったか考察し今後の取り組みに生かしましょう</p>	

実地開催(テレコムセンタービル):全体像



5～3階
ブース、オープンスペース

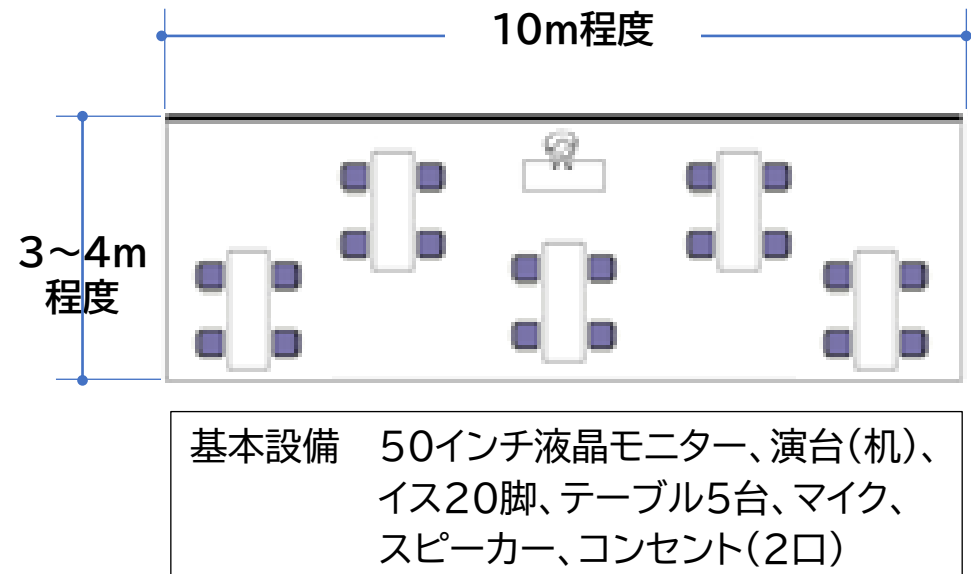
1階 ワークショップ等実施のオープンスペース、学問診断、意見募集ボード、100人論文など特別企画

実地開催(テレコムセンタービル):オープンスペース基本仕様

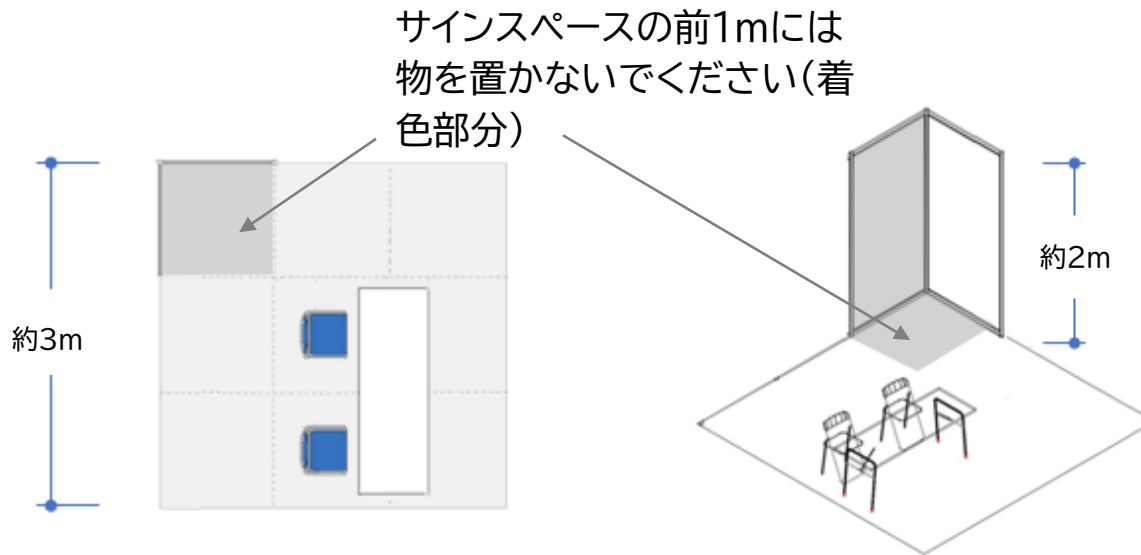
基本設備にない物品は有料で手配できます。なお、状況により仕様が変更になる場合があります。

テレコムセンタービル1階、3～5階に設置される、来場者との距離が近い企画実施が可能です。机を入れてワークショップスペースとしても利用できます。

1階のモニターは大型、3～5階のモニターは50インチです。階数を指定することは出来ません(事務局にて決定します)のでご了承ください。



実地開催(テレコムセンタービル):ブース基本仕様

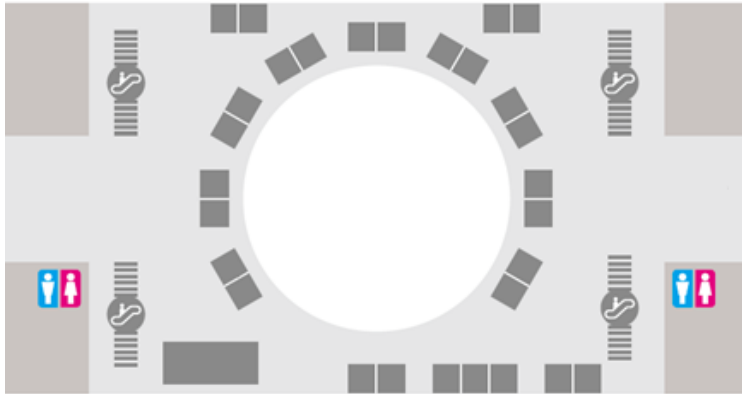


サイン表示のイメージ
(出展者名などを記載)

- | | |
|-----------------------|--|
| <p>基本設備
(1小間)</p> | <p>間仕切り壁面(システムパネルW990×H2100で構成)
 壁面への画鋏や釘の使用、現状復帰不可の接着剤等での貼り付けは禁止。パネルの設置に必要なチェーン等をご持参ください
 テーブル(W1800×D600×H700)1台、イス 2脚、コンセント(2口)
 サイン(サインスペース(出展者名などを記載)の前1mには物を置かないでください)</p> |
|-----------------------|--|

※1小間の場合。複数小間の出展の場合、基本設備の個数は倍になります
 ※ブースの外側の壁にポスター等を掲示することはできません

実地開催(テレコムセンタービル):3~5階基本レイアウト



ブースは吹き抜けを取り囲んで1フロアあたり26企画程度を配置予定。

吹き抜けからの落下物がないようご注意ください。手すりに物をかけることはできません。

※図は公募時の基本配置案です。状況により変更となります。5階は壁に沿ってブースが並ぶレイアウトを予定。

各階に、ワークショップ等セッション系企画(90分以内)が実施できるオープンスペースを設置(レイアウトは未定)

公募によるワークショップ企画を予定しています。主催者による未来体験型の企画も実施します。

1階はレイアウト未定で、総合受付、トークショーやワークショップ用のオープンスペース、意見募集ボード(オピニオンボード、レポートボード)等を配置します。

実地開催(テレコムセンタービル):11/18~19タイムテーブル

オープンスペースでの企画実施数は目安です(応募状況によってはオープンスペースの配置箇所が少なくなることもあります)。

オープンスペース				
	1階	3階	4階	5階
10時				
11時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)
12時				
13時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)
14時				
15時				
16時	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)	企画実施 (対話込み90分以内)

意見募集ボード(オピニオンボード)

以下について来場者からのコメントを募ります。

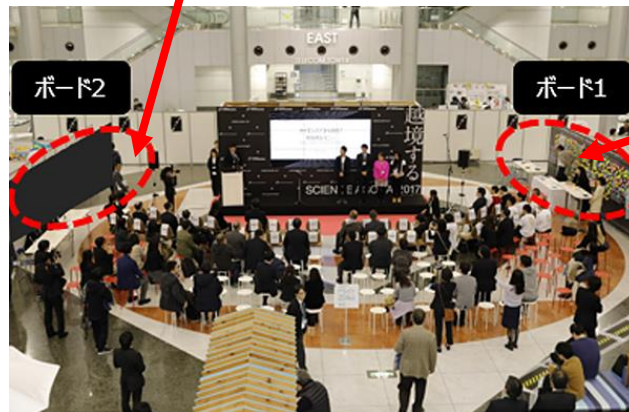
今日サイエンスアゴラに来てみて感じたことを教えて

おもしろいな、たのしいなと思ったことは？

こわいなあ、いやだなあと思ったことは？

こうなったらいいなと思うことは？

サイエンスアゴラ2017以降、会場に設置する「意見募集ボード」を通じて、新しいロゴに対する意見や、科学技術に対する期待などの声を集めてきました(写真左の、ボード1がオピニオンボード、ボード2がレポートボード)。



意見募集ボード(レポートボード)

セッション(ワークショップ含む)については、企画内で話し合われた内容(レポート)を貼り込むボードを会場に設置します(オンライン企画含む)。オンライン開催、実地開催ともに、**企画実施後90分以内にご提出ください(出展条件です)**。その企画に参加できなかった来場者にも内容が伝わるのでご協力をお願いします。

時間が合わず
セッションに参加
しなかった人にも
内容を伝えら
れます

注目企画は
グラフィックレ
コーディング
を実施



各レポートは
後日Webに
も掲載！
※提出必須

レポート提出(セッション、ブース共通)

実施後に簡単な開催報告をご提出ください。2023年にご報告いただく内容は、セッション、ブース、ともに以下を想定しています。

- 1) 話し合った未来像
- 2) 対話を含め、企画内で議論した際に出た意見、論点
- 3) キーワード

会場では、レポートを読んだ来場者が「共感した」「考えさせられた」などをシールで貼れるようにします。

ブースのレポートの当日貼出はありませんが、ウェブサイトへの掲載があるため、撤収後90分以内、遅くとも企画実施の翌日には必ずご提出ください。

レポート記入例
<企画概要の補足(テーマ設定の意義など)>企画概要に加えて記載したいことをご記入ください(補足の必要がない場合は記入しなくて構いません)
<セッションで話し合った未来像>
望まない中央管理を受けず、個人の自由が守られる社会
<セッションでの意見、論点>
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報の集約化による便益と、望まない管理を受けないことを、両立させるにはどうすればよいか? ✓ データの統合・管理が個人にとってメリットは少ないが、社会全体にとって有益な場合、その統合・管理をどのような基準で進めるべきか? ✓ また、その場合、自由を求める個人からどのようにコンセンサスを得るのか? ✓ 出展者としては「●●」が良いと考えていたが来場者から「▲▲」の視点も重要との意見があり、その発想はなかったため、今後改めて考えたい
<セッションで出たキーワード>
自由とプライバシー、効率化、運用する人、監視役、安全・安心、メリット、費用対効果、リテラシー、教育課程、基準、手続

採択企画を基に次世代企画を実施

サイエンスアゴラ2023に集まった企画から、未来の学問や研究開発への提案を考えるワークショップを実施します。結果はサイエンスアゴラ公式サイトにて発表。

Future Visionaries Conference:未来を見据えるビジョナリーたちの集い(仮)

[準備]

1. 事前に事務局で班テーマ設し、8～9月くらいに告知
2. ワークショップに参加したい若者を事務局で公募
3. 班毎に4～5人ずつ選抜
4. 各班にファシリテータを1人ずつ専任

[当日] 半日～1日のワークショップ

5. 顔合わせ
6. 関連しそうな企画を予め事務局で選定し、班ごとに会場巡回
7. テーブルに戻って来て、話し合っって課題に取り組む
8. 課題提示例:
 - a. 現在or近い将来に社会が直面すると考えられる課題
 - b. 社会が考えていかなければならないことは何か
 - c. 自分の専門分野はそれにどのように関わってゆけそうか
 - d. 課題が解決されるためにはどんな学問、研究が必要か？(既存分野、もしくは新分野、分野融合の提案など)
9. 発表、ファシリテーターによるコメント

前夜祭

前夜祭として「出展者に聞いてみた 企画のココが面白い！」を実施します。出展者の方に、サイエンスアゴラ開催直前の意気込みや裏話などを伺う、ラジオ形式のインタビューをオンライン配信します。

ファシリテーターが、独自の観点から、出展企画の面白さを掘り下げます。前夜祭登壇者は、出展が決まった企画の中から募集します。オンライン開催の出展者は企画実施後になります。アーカイブに誘導できます。参加に際しての熱い思いを多くの人と共有したい方は、ふるってご応募ください。

※希望者多数の場合、事務局による選考となりますのであらかじめ御了承ください。

※2022年の企画「出展者に聞いてみた 企画のココが面白い！」は以下で公開中

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2022/online/01-b18.html>

第二部・前夜祭

11/17[金]

10時

11時

12時

13時

14時

15時

16時

17時

18時

19時

20時

時間未定

今後のスケジュール

★は出展者側での準備作業です

- 6/1[木]● **出展企画の募集開始**(協賛制度については39ページをご覧ください)
★内容の方向性検討、登壇者への打診、必要経費の確保、応募申請書の提出
- 6/30[金]● 正午 応募〆切**
- 8月上旬● **サイエンスアゴラ2023推進委員会の審査を経た結果通知**
★登壇者、協力者への連絡
- 8月中旬● **出展同意書の提出**

- 8月末● **公式サイト、プレスリリース用の公開情報登録**
★公開情報登録(英語含む) これ以降のスケジュールは
変更になる場合があります
- 9月下旬● **出展者マニュアル掲載、ウェブサイトオープン**
★マニュアルのダウンロードと内容の確認、広報計画の実施
- 10月上旬● **サイエンスアゴラの事前登録開始** 会期後は運営事務局からの
アンケートなどにご協力ください
- 10/26[木]● **オンライン開催(30企画予定)**
★ライブ配信は台本の作成、リハーサル等も事前に進めてください
- 28[土]● **★企画実施後はレポートを事務局に提出のこと【実地開催会場に貼り出します】**
- 11/17[金]● **搬入・前夜祭(1企画予定 ※3部構成等の可能性あり)**
- 18[土]● **実地開催(東京・お台場 青海地区・100企画予定)**
- 19[日]● **★企画実施後はレポートを事務局に提出のこと【後日公式サイトに掲載されます】**

サイエンスアゴラ2023推進委員会

※JST以外は50音順、敬称略



稲見昌彦(東京大学 総長特任補佐・先端科学技術研究センター 副所長/教授)



上村遥子(SUNDRED株式会社 チーフエバンジェリスト/コミュニティデザイナー/パートナー)



新熊亮一(芝浦工業大学教授、株式会社ハイパーデジタルツイン取締役、MEIS学会代表)



本多達也(富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所 ソーシャルテクノロジー社会実装推進室 Antennaプロジェクトリーダー)



塩崎正晴(JST 理事)



大島まり(東京大学大学院情報学環/生産技術研究所 教授、次世代育成オフィス(ONG)室長)



サリー楓(株式会社日建設計NAD 室 コンサルタント)



タカハシショウコ(インキュビオン株式会社 CEO)



桒太一(同志社大学 ハリス理化学研究所 専任研究所員(助教))



森田由子(JST社会技術研究開発センター 企画運営室 専門役)

応募の手順

サイエンスアゴラ公式サイトから応募申請書をダウンロードし、必要事項を記入して、JSTサイエンスアゴラ事務局 agora@jst.go.jp にメールで送付してください。1企画につき1通の応募申請書を使ってください(2企画の場合、応募申請書は2通必要です)。複数の申請は可能ですが、数多く申請しても採択の確率が高まるわけではありません。全て採択された場合に実施できる範囲で申請してください。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

サイエンスアゴラでは以下のルールに沿って企画タイトル等を表します。

- ルール(1) 法人格(国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人など)はすべて省略
- ルール(2) 法人名・機関名と部署名の間にはスペースを挿入。部署名が複数続く場合は、見やすさの観点から適宜、スペースを挿入
- ルール(3) 記号(丸括弧() かぎ括弧「」 中点・句点。読点、感嘆符！ 疑問符？ チルダ～ など)はすべて全角で記入
- ルール(4) 企画タイトルにサブタイトルがある場合の表記は以下の通りとする
主タイトル 半角スペース チルダ サブタイトル チルダ
例)光の色彩 ～視覚で楽しむ炎色反応～
- ルール(5) ① タイトル全体がかぎ括弧「」などで囲まれている場合は、とる
② 一重括弧なしに二重括弧が使われている場合は、一重括弧に変更
③ 複数の出展者が同列で列挙する場合は、読点で区切る
④ 感嘆符、疑問符の後ろは、原則、スペースを空ける

応募申請書への記入

応募申請書に記入する内容をまとめました。

No	項目	内容	
1	出展者の名称	出展者の名称を日・英でご記入ください(日表記は25字程度、法人格は省略)	テキスト入力
2	上記団体のサイトURL	出展者の公式サイトがあればURLをご記入ください	テキスト入力
3	企画タイトル	企画タイトルを日・英でご記入ください(日表記は25字程度、全体を「」で囲わない)	テキスト入力
4	出展者の属性	出展団体の属性を選択肢から1つ選んでください。該当がない場合は「その他」を選択してください	<input type="radio"/> 大学・研究機関 <input type="radio"/> 学校関係(小中高等) <input type="radio"/> 科学館／博物館 <input type="radio"/> メディア <input type="radio"/> 企業 <input type="radio"/> 行政機関 <input type="radio"/> NPO／NGO等 <input type="radio"/> 組織ではない(有志の集まりなど) <input type="radio"/> その他
5	代表者氏名と所属	採否通知等の宛先となる方の氏名とご所属を、氏名(所属・法人格は省略)の形式でご記入ください	テキスト入力 入力例) 理科次郎(××機構○○部)

No	項目	内容
6	出展実績	サイエンスアゴラでの企画提供の実績を選択肢から選んでください
		<ul style="list-style-type: none"> ○初めて出展する ○一度だけ出展したことがある ○複数回の出展経験がある
7	出展形式	<p>出展の形式と日程を選択肢から選んでください(要望が必ず通るわけではありません)</p> <p>※オンラインは本編60分以内+対話の時間30分以内、合計90分以内での実施をおすすめしています</p> <p>※希望日時があれば出展形式の特記事項欄に記載してください</p> <p>※実地開催オープンスペースでは1枠90分の持ち時間で自由に設計できますが、時間が長いと参加する人が限られますのでご注意ください</p> <p>※実地開催で2小間(2枠)以上の出展は、追加1小間(1枠)につき2万円(税込)をお支払いいただきます</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン:10月26日(木)~28日(土)のいずれかで90分以内 ※無料 ○実地開催オープンスペース:90分以内(11月18日(土)19日(日)のいずれか・無料) ○実地開催オープンスペース:120分以内(11月18日(土)19日(日)のいずれか・有料) ○ブース1小間で11月18日~19日の2日間(土日) ※無料 ○ブース複数小間で11月18日~19日の2日間(土日) ※有料 ○ブース1小間で1日のみ(土日) ※無料
8	想定している来場者	<p>あなたの企画にはどのような人が来場することを前提としていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小学生以下 • 中学・高校生 • 高専・専門学校・短大・大学・大学院生 • 研究職(人文・社会科学系) • 研究職(自然科学系) <p>※次ページに続きます</p>

No	項目	内容
8	想定している来場者	あなたの企画にはどのような人が来場することを前提としていますか。
		※前ページからの続き ・ 会社員等(専門・技術職) ・ 会社員等(事務職) ・ 教職 ・ 主婦・主夫・定年退職・無職 ・ その他
9	5つのトピック	13～16ページを参照し、想定している来場者が気になるであろうトピックを、第2候補まで選んでください
		・ 自然が気になる ・ 社会が気になる ・ スポーツや芸術が気になる ・ レジャー・エンタメが気になる ・ 社会課題が気になる
10	企画概要(300文字程度)	公式サイトへの掲載を想定して企画概要を記載してください【転載の可能性あり】。あなたの普段の活動の目的を達成するために、この企画を通じて何を考え、対話しますか。対話によって来場者・出展者が得られる成果を意識して記入してください
	倫理審査の要否	個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査(個人履歴・映像を含む)、来場者からの提供を受ける試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる企画内容ですか
		○既に承認を得ている ○承認手続き中である ○承認手続きが不要な企画内容である ※承認が必要な企画で、最終的に承認が取れなかった場合は、出展をお断りします

No	項目	内容	
11	登壇者等 (オンライン)	予定している登壇者の氏名や所属を記載してください(交渉中の記載も可)(300文字程度)	テキスト入力
	登壇者等 (実地開催)	ワークショップ等セッション形式の場合は登壇者情報を、ブース出展の場合は説明員や特別ゲストについて記載してください(交渉中の記載も可)(300文字程度)	テキスト入力
12	企画進行 の段取り (オンライン)	60分以内の企画でどのように話を進めるか、タイムテーブル(登壇者の持ち時間)や視聴者に共有する資料などを具体的に記載してください(300文字程度)	テキスト入力
		19ページを参照し 、対話の時間を設ける場合は30分でどのような対話を行うか、対話の時間を設けない場合は対話要素をどのように盛り込むかを記載してください(300文字程度)	テキスト入力
		企画実施とリハーサルの際に、運営事務局から無料で貸与するZoomアカウントの利用を希望しますか	<input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
	企画進行 の段取り (実地開催)	当日にどのように話を進めるか、登壇者の持ち時間や来場者に共有する資料などを具体的に記載してください(500文字程度)	テキスト入力

No	項目	内容	
12	企画進行の段取り(実地開催)	持ち込む展示物や各種の配置など詳細なイメージ図を貼ってください(写真歓迎)	あれば、過去に出展者が実施した企画の記録のURL(公開動画やブログ等)
		該当する事項があればチェックしてください	1リットルを超える水の使用／0.5kWを超える電気の使用／生き物の持ち込み／実費の徴収や物販の実施／飲食物の提供／音や光、におい等の発生／熱源の使用(裸火は不可)／薬品の使用／その他
		具体的な内容をお知らせください	テキスト入力
13	準備・運営	【準備段階】企画実施までの準備に関わる人数を教えてください 【企画実施時】当日のスタッフの人員構成を記載してください	テキスト入力 【準備段階】 【企画実施時】
14	英語対応	英語対応が可能ですか(英語での企画説明や説明資料の日英併記など、何らかの工夫を推奨します)	○通訳者手配・資料の日英並記が可能 ○資料であれば日英並記が可能 ○対応できない
15	広報計画	事務局が依頼する、6回のSNSでの情報発信(11-12ページに記載)のほか、いつ、どのようなタイミングで、どんな手段(チラシ、SNS、メルマガなど)で広報を行うか、具体的な計画を記載してください(300文字程度)	テキスト入力

No	項目	内容	
15	SNSアカウント	企画の情報発信(11-12ページに記載)を行うアカウントをお知らせください	テキスト入力
	情報発信用の企画紹介文	SNSでの情報発信を意識した紹介文を記入してください(100文字程度) ※詳細は11-12ページをお読みください	テキスト入力
	ターゲットコピー	SNSでの情報発信を意識したターゲットコピーを記入してください(30文字程度) ※詳細は11-12ページをお読みください	テキスト入力
16	特記事項	実施日等について特段の要望がある場合は記入してください	テキスト入力

協賛企業の募集について

サイエンスアゴラの活動に共感し、サポートしてくださる協賛企業を募ります。詳細は決定次第、サイエンスアゴラの公式サイトでご案内します。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2023/>

誘致企画(2023年5月31日現在)

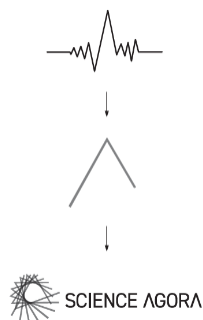
今年は以下の企画を予定しています。

●お台場100人論文【誘致企画】

匿名で自分の関心事や研究テーマを掲示し、質問、コメント、アドバイスなどを付箋紙に記入しあう「京大100人論文」のサイエンスアゴラ版です。過去の実施では、その後の新たな活動に結びついた例があります。出展者の参加によって様々な意見・知見がまざり、これまでにない取り組みが生まれることを歓迎します。

●IVRC2023(Interverse Virtual Reality Challenge)【誘致企画】

サイエンスアゴラ2019から併催しているIVRCは、リアルとバーチャルが融合(Interverse)する時代に向けた、様々な視点からの、学生たちのチャレンジを応援するコンテスト。予選を勝ち抜いた新しい時代のVRを体感できます(公開のコアタイムを設けます)。



LOGO CONCEPT

発見やひらめきを感じた瞬間、人は大きな喜びを感じます。
 その気持ちが跳ね上がる瞬間を捉え、ロゴにしました。
 一つの要素が重なり、紡がれていく様子を表しており、
 多数の要素が集まることで大きく広がりを見せる場を象徴します。
 未来へとさらに発展していく様子を未完成な形で表し、
 人の対話とひらめきが重なりあい、未来を創る大きな力を表現します。

皆さまからの
 出展のご応募を
 お待ちしています